



小島友実の あの馬の STORY



11月21日・東京・2歳新馬戦　返し馬

ジャンドウーヤ

明けおはしてねあなたがいるねこまか。今年はこのままお出でにならぬか。今までのではなでしまつた。競馬取材に様々な制限はあります、自分にできることを模索し皆様のお役に立てるレポートをお届けできるもの頑張って行きます。本年もよろしくお願ひします。

今年最初のレポートは昨年11月にジャンドウーヤでした。ジャンドウーヤは半姉のサムシングジャズトと続き松田国英調教師が管理わねじり事で、1歳募集開始後早々に満口にならました。かく注目してお方やわざと見ておま。

「姉妹でも違つタイプ。サムシングジャズは手脚などのペースが長く、体も大きいくらいで、1歳馬（ジャンドウーヤ）は長距離短距離でマイルを走れそうな形。牝馬はマイルを走ればオーケーなの長距離も対応できまやから、楽しみです。」

1歳募集時のインタビューでのお話をした松田調教師。ジャンドウーヤは大きな怪我もなく育成期間を過ぎ、昨年の年末にトレセンへ入厩しました。

「枠入り、駐立はすぐでゲート試験は一回で合格。しかし、普段の運動の中で止まる、じうじう動作が上手にできず、ハミに体重を乗っけて止まってしまった。前に進むことが調教の基本ですが、きちんと止まる事も大切です。そんな中、追い切りでは坂路で52秒台の時計が簡単に出来ました。これなら新馬戦で通用するに考えて、札幌競馬場に移動させました。競馬場でスクーリングしながら札幌競馬の最終週のレースに照準を合わせ、いかなる時も止まれぬようトレーニングできめ細かに育てたのです。」

しかし、最終週のレースは残念ながら除外となりてしまふことになった。

「除外は結果的に良かったと思つますが、そののも、札幌へ行つてもかく止まる事で、優しい女の方。ただ調教になると、ガリガリ走りますから、我を憚つて走るといつ爆発的な走りが委縮してしまつたんです。私は毎週水曜に札幌へ入り、自分の田舎の馬の調教を確認してまとめて一度も眠らなく思つて動きを見せてくれました。」

その後、9月に栗東へ戻つたジャンドウーヤですが、疲れのためか飼葉食いが落ちてしまい、放牧を挟みフレッシュ。10月末にトレセンに戻つてからは状態が上がりで行きました。

「放牧前は馬の視線が下を向つてしまつたので、放牧を挟みフレッシュ。10月11日に栗東のCWコースで82秒台の時計が出て、これなりの好勝負になりました。期待感を持つて、東京競馬場の新馬戦に連れていきました。」

そのデビュー戦では三浦皇成騎手が乗りました。師匠の印象を伺いました。「輸送後の馬体重は想定内。ゲートも練習通りで良い内容でした。初戦で芝1600mだと左回りをこなしきれられた事で今後、夢が出てきましたよ。現段階でサムシングジャズトと比べる事はできませんが、ジャンドウーヤは力のぬけた見せて貰えたと思います。」

「も確で勉強になる「メントをし下せる松田師に現段階のジャンドウーヤの長所と課題点を教えて頂きました。馬場芝1600mでよく向かう予定となつて、阪神芝1600mでよく向かう予定となつてお尻や背中、筋肉の盛り方などが牝馬の走りに影響するところを教えて頂きました。」

馬の走りが本当に美しいですね。体に無理がかかるだけで、ソーラーが当たつて痛めたりする事が少なくて、これは持つて生まれたもので、長所です。馬房では大人しくて優しい女の子。ただ調教になると、ガリガリになり不必要的消耗してしまつてあります。気持ちが前向きなのは良いい面でもある上、少しでもロールでいい自然体で走れるようになれば、体重も増えていいですね。」

松田調教師は来年2月末に定年を控えでおお、残念に思つて、余賞さんとも多いのですが、なぜか。

「定年が近い私に、少しお能ある馬を預けて下さったグリーンファームさん。そこで出資して頂いた余賞の皆様には感謝の気持ちをつづります。ローナがなければ恒例のバーナイで皆もんとの馬の話ができたと思うと残念ですね。私は常口頭から、牡馬なら種牡馬になれるよう。牡馬なら重賞を勝つて牧場に戻す。そんな想いでやつきました。ジャンドウーヤはつかか重賞を勝つために今はまだ大事な時期です。自分の定年が近いからと軽い無理に使うのはなく、この馬が一番良い状態の時に走れるように残りの数ヶ月、真正面からの馬に向かひ、精一杯やつてください。」

初戦の後、追い切った後に体重減が見られ、「心身ともにワントロールでき続戦できる状態」との事で、12月20日の阪神芝1600mでよく向かう予定となつて、阪神芝1600mでよく向かう予定となつて大きな糧となつていい事であります。」

(12月1日：電話取材)

profile 競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（王婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。